

1 単元 自動車をつくる工業

2 単元の目標

自動車工業における生産の様子や自動車生産に携わっている人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きについて、実地活動や各種資料を活用して調べ、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自動車生産の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自動車生産の様子について学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 自動車生産の様子と国民生活とを関連付けて、我が国の自動車生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の自動車生産の様子について、各種の資料を活用して必要な情報を集め、読み取っている。 調べたことを図や文章などにまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産に携わる人々の工夫や努力、運輸の働きを理解している。 我が国の自動車生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。

4 単元の指導について

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに、資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働きを調査したり資料などを活用したりして調べる活動を通して、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えることができるようにする。

～児童の実態は非公開とする～

そこで本単元では、導入時に、学習問題に対する個人の予想から、調べる観点を導き出し、調べ学習に向けて学級全体で共有する。この活動により児童は、学習の見通しを立てることができるようになり、調べたことを基に根拠ある自分の考えを進んで述べることができると考える。次にまとめでは、日本の自動車づくりのよさを短文作りを通して学習問題の答えを抽象化して導き出せるようにする。それを基に小グループで話し合い、さらに、学級全体で交流することで、友達の考えと比較しながら自分の考えを再構成できるようにする。これらの学習活動を通して、児童の主体的な学びを育んでいきたい。

5 指導計画（8時間扱い）

時	学習内容・活動	観点別評価規準 おおむね満足できる状況	観点
1	日本の自動車が世界中で売れている理由について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産の様子に関心をもち、意欲的に調べようとしている。 日本の自動車の主な輸出先を読み取っている。 	関 技
2	学習問題をつくり、予想を基に学習計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 	思
3 4 5 6	自動車づくりの工程や自動車生産に携わる人々の工夫や努力を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産の様子について、資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。 自動車生産に携わる人々の工夫や努力を理解している。 運輸の働きを理解している。 自動車生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。 	技 知 知 知
7	日本の自動車づくりのよさについてまとめる。 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え、適切に表現している。 	思
8	これからの自動車づくりについて考え、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> これからの自動車づくりについて自分の考えを表現し、話し合っている。 	思

6 本時の指導

(1) 目標

自動車づくりの工程や自動車生産に携わる人々の工夫や努力を基に、我が国の自動車が愛される理由を考えることを通して、日本の自動車産業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気付き、適切に表現することができる。

(2) 展開

時	学習活動	教師の指導と支援・評価
5分	1 本単元の学習問題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> どうして日本の自動車は世界の人人から愛されているのだろうか。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元を通して解決する学習問題を板書し、本時は学習問題の答えを出していくことを確認する。
8分	2 日本の自動車づくりのよさについて自分の考えを短文でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの調べたことをふり取りながらまとめることを伝える。 ・小グループでの話合いで自分の意見が述べられるようにするために、個人で考える時間を設定する。 ・そう考えた理由を前時までに学習したことから具体的に書くよう指示し、本時のまとめにつながるようにする。 ・短文づくりを通して、学習問題の答えを抽象化して導き出せるようにする。 ・作った短文のキーワードを付箋に書かせることで、分類しやすいようにする。 ・グループで考えたまとめを短冊に書かせる。
8分	(1) 個人で考え、付箋に書く。 (2) グループで話合い、まなボードにまとめる。 <予想される児童の反応> ・種類が豊富だから。 ・安全だから。 ・燃費がいいから。 ・かっこいいから。 ・消費者のニーズに合っているから。	
5分	(3) まとめた意見を短冊カードに書く。	
8分	3 自動車づくりとわたしたちとの生活とのつながりについて話合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での話合いでスムーズに分類・整理ができるように1枚の短冊には一つの意見を書かせるようにする。 ・同じものや関連があるものごとに仲間分けをする。 ・黒板上で分類・整理し、共通点をまとめたり、見出しを考えたりしながら意見を集約していく。 ・児童の考えを可視化することで、学級全体で意見の共有化を図っていく。 ・分類・整理の後、児童に理由を述べさせていく。 ・意見にズレが生じたときには教師が分類・整理の視点が明確になるような助言をする。 ・まとめることに戸惑っている児童には、短文づくりで出てきたキーワードを使ってまとめるとよいことを助言する。 ・児童の発表から、自動車生産に携わる人々の工夫や努力が自動車産業を発展させるとともに、国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気付かせる。
5分	(1) 短冊を分類・整理する。 <分類の視点：> 予想される児童の反応> ・安全性 ・消費者のニーズ ・環境 ・技術 ・燃費	
5分	(2) 話し合ったことを基に、自分の考えをまとめる。 <予想される児童の反応> ・日本の自動車が世界の人々から愛されるのは、種類が豊富で、消費者のニーズにこたえているから。 ・環境に優しく、燃費のよい車が多いから、日本の車は世界中で人気がある。 ・自動ブレーキなどの装備があるから危険から守ってくれる日本の車が世界で人気があるのだと思う。 ・安全、安心な自動車づくりは、人にも環境にも優しく、わたしたちの生活をよりよいものに行っている。	
3分	(3) 学級全体で共有する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 日本の自動車が世界の人々からされているのは、工場の人々がいろいろな工夫と努力を重ね、みんながほしいと思う自動車をつくっているからである。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の言葉を生かしながらまとめていくために、まとめられた児童には発表をするように促す。
3分	4 本時の振り返りを書き、次時の学習への見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は、これからさらにみんなが欲しい自動車とはどんな自動車かを考えることを確認する。

評 我が国の自動車が愛される理由を考えることを通して、日本の自動車産業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気付き、適切に表現している。